

平成28年度東京地区会文化交流会 「楽しみながら防災体験」 in 立川防災館



立川防災館

平成29年5月20日(土)東京都立川市の立川防災館において東京地区会文化交流会が開催されました。当日は天候にも恵まれ、気温は暖かく穏やかな陽気で室内で行う研修では、ちょっと勿体ないかなと感じるような日でした。

東京地区会はがんセンター中央病院をはじめ、精神・神経センター、災害医療センター、東京病院、多磨全生園と診療機能の異なる5施設から設置されています。



今回、施設間の交流や東京直下型地震などの災害時に備え、防災に対する知識や行動力を普段から高めておいた方が良いのではとの意見もあり、理事会では防災体験を計画し準備を進めてきました。この日集まった会員は64名で、若手技師の参加が多く活気みなぎる会場となっていました。今年度東京地区会会員数は128名で、約半数の会員が参加しており、地区会の活性化や災害に対する関心の高さを伺え知ることができました。

4月の人事異動で東京地区会に入会した会員も多く、久しぶりに会う人もおり、挨拶を交わし、また昔話に花を咲かせている様子が見受けられました。



皆さん真剣に説明を聞いています



防災ホイッスルを
会員へ配りました



防災体験は13時からのスタートで、防災館インストラクターの説明の後、3班に分かれ4つの防災体験をそれぞれ30分毎体験させて頂きましたので簡単にご紹介します。

①防災ミニシアター

大型のスクリーンで防災教育動画「君の命を守りたい」を鑑賞し、過去の地震から得た教訓を基に、今何ができるかを問いかける内容でした。



地震体験

③煙体験

建物の中で煙に巻かれず、いかに煙を吸わずに避難できるかを学びました。煙の本当の怖さを知り、現実遭遇したら死ぬのではと思いました。



防災ミニシアター

②地震体験

3.11地震や熊本地震と同じ揺れの体験ができ、屋内からの脱出の手順を体験しました。想像していた揺れとは違い、本当に怖いと思いました。



煙体験

④消火訓練

スクリーンに映し出された火災映像を消火器で消火する体験をしました。初めに火事だ〜と大声で叫び、各自が消火器で火を消すことが出来たので、これで初期消火は大丈夫かな？と思いました。今回の防災体験は、頭で想像するより体で体験できたので、地震や煙の本当の恐ろしさを知り大変良かった、学べたとのことのご意見を多くいただきました。



消火訓練

火事だー！！

また、防災体験終了後は立川駅近くの居酒屋に場所を移し、58名参加のもと新人歓迎会を兼ねた親睦会を開催しました。おいしい料理やお酒も進み、和やかな雰囲気の中、新人紹介など行い、施設間の親睦を深めることが出来ました。東京地区会会員の皆様、本当に多くの方に参加、ご協力していただきありがとうございました。

事務局長 阿部 浩

